

SDGs 酒場



### 東大五月祭に「じゅんかん育ち」

学生が企画 ジャがバターと日本酒に舌鼓

18、19の両日に東京大学の弥生・本郷キャンパスで開催された学園祭「五月祭」で水道資源を活用した「じゅんかん育ち」の日本酒専攻都市環境工学コ

ースの修士1年生の学生。「SDGs酒場」と銘打ち、下水汚泥肥料を活用して栽培した鹿児島県徳之島のジャガイモを使ったジャがバターと、再生水を活用して栽培した米を原料とした秋田県の本酒「酔思源」をふるまった。

ジャガイモは、この日のために取り寄せたマンホール蓋を模した鉄板の上で焼き上げた。来場者は、ほくほくのジャがバターとフルーティーな風味の日本酒に舌鼓を打った。

企画を通じて下水資源の啓発とイメージの向上を狙っており、屋台前には下水資源を活用して作物を栽培する意義や、下水汚泥肥料の安全性をPRするパネルも展示。子どもから大人まで、幅広い層が集まる大学の文化祭の場を活用して、下水資源の有用性をアピールした。



ジャがバター